

「AMG協議会ニュースは、AMG協議会各部署からAMG全職員への情報発信を目的としています」

2023
No.067
1月号AMG News!
AMG協議会ニュース

January

上尾中央医科グループ
AGEO MEDICAL GROUP編集・発行人 AMG協議会総務部 広報室 <http://www.amg.or.jp>
〒362-0075 埼玉県上尾市柏座1-10-3-58 TEL:048-773-1113 FAX:048-773-7116
監修/(株)寿エンタープライズ 制作/(株)博愛社

～令和5年度 AMG方針 発表～

総務部

2023年1月11日(水)、中村康彦会長より「令和5年度AMG方針 統一テーマと詳細説明発表会」と題しまして理事・運営委員に向けてのAMG年度方針発表会が行われました。

本会はリアルタイムかつ多くの理事・運営委員に聴講の機会を設ける為、Zoom会議にて開催されました。

説明会の冒頭では過去のAMG方針の発表時期について触れられ、今後は運動会の時期ではなく、新年を迎えてからの発表になるとお話しになりました。

続いて、AMG統一目標並びに5つの大項目について詳細な説明をされ、最後に来る令和5年度に向けて全理事・運営委員の意思統一と激励のお言葉を頂戴し閉会となりました。

2023年4月16日(日)に行われるAMGキックオフ大会では、改めて全職員に向けたAMG方針説明発表会を行います。皆様にはぜひ積極的にご参加いただき、ともに新しい年度のスタートを切りましょう！



令和5年度 AMG 方針

※説明会の内容を一部抜粋

【vision】良質で安全・安心・信頼の医療・介護を提供し、地域に貢献する

突破 Breakthrough to the success! ~新たな時代の扉を開く!~

1. 患者(利用者)中心の医療・介護の推進

- ・患者(利用者)のサービス向上に向けた積極的な改善活動・QIを活用し、質の向上に向けた活動を確実に定着させる
- ・全ての利用者(患者・利用者・求人等)に向けた価値向上のための広報コンテンツの充実

2. 地域と密着した医療・介護の実践

- ・地域における医療・介護の連携強化(紹介件数アップ)
- ・切れ目のない医療・介護のための在宅事業の強化(人員強化を含む)

3. 健全経営の継続

- ・確実な予算達成に向けたデータを活用した経営改善活動
- ・2024年度の同時改定に向けた組織的な取り組み
- ・経費節減への取り組み
- ・予防事業の強化と二次健診受診率の向上(病院・クリニック)

4. 人財の育成

- ・次世代を担う人財開発と育成支援(主体的な職員の育成)
- ・プレゼンテーションスキルの向上による人財育成と組織的関与

5. 継続的質改善の取り組み

- ・タスク・シフト/シェアや医療チームの推進
- ・「働きがい」をもって働くことのできる環境の実現

2022年度

人財開発室

AMG係長以上全体研修会フォローアップ 開催報告



▲講師 下田静香氏

2022年11月30日(水)に、係長以上全体研修会フォローアップをオンライン(Zoom)で開催しました。今回の係長以上全体研修会フォローアップは、6月に開催した係長以上全体研修会からの活動の振り返りと、育成につながる面談を学ぶ機会として活用していただきたく開催しました。

講師は、6月の研修会に引き続き、株式会社エイトドアより下田静香氏をお迎えしました。当日は、AMGの管理職1,125名の参加申込みがありました。

研修会前半は、6月の研修会の振り返りと、評価結果のフィードバックの必要性や面談のすすめ方について、後半は、よりよい面談にするためのポイントを学びました。

今号では、参加者より届いた声の一部をご紹介します。

研修会報告書より

フィードバック面談を通して、「成長点」「改善点」「キャリア育成点」等の項目ごとに参考例や方法等を示されていたことが、非常によい学びとなった。(老健・介護支援専門員・係長)

振り返りをして、次の目標を期待していることを伝えるのが重要と感じた。また、面談の準備をしっかりしようと思った。(病院・事務・係長)

面談におけるステップが、即実践につなげられるイメージが持ててわかりやすかった。(病院・看護師・科長)

特にフィードバック面談の重要性がよくわかった。また、スタッフの成長点と改善点を明確にするための進め方が理解できた。(訪問看護・看護師・所長)

フィードバックの必要性や具体的な方法がよく分かり参考になった。また、褒める、叱るといったことが個人的に悩んで切る部分があったため参考になった。(病院・臨床工学技士・係長)



▲協議会ビルでの研修会参加の様子

▲経営管理本部での研修会参加の様子

”人を育てる人事評価～正しく知って、正しく評価～”フォローアップ 研修

研修概要

- ◆ 2022/6/30開催 AMG係長以上全体研修会の振り返り
- ◆ 評価結果のフィードバックの必要性
- ◆ フィードバックのすすめ方(面談のすすめ方)
- ◆ フィードバックのポイント①(認める、ほめる点)
- ◆ フィードバックのポイント②(注意する点)
- ◆ 面談で気を付けたいこと

2023年度

ワークアウトファシリテーター研修会新任講師キックオフ 開催報告

2022年12月5日(月)にAMGワークアウトファシリテーター研修会のキックオフを実施しました。

本研修は、「AMGのワークアウトを盛り上げる人財を継続的に育成すること」を目的に、2016年度より開催をしています。

当日は、前任講師の4名と、前回の研修会より選抜された新任講師4名が協議会へ集結しました。キックオフの前半は、本研修会の発足当初に講師を行っていた久保田総局長からご挨拶いただき、講師と研修会運営スタッフの自己紹介、新任講師への委嘱状授与を行いました。後半は、ファシリテーター研修会の講義内容について、前任講師から新任講師へ引継ぎを行いました。

ファシリテーター研修会の講師は、「屋根瓦方式」を取り入れて育成しています。屋根瓦方式とは、講師を務めた人が、次の講師を育てる側に回る、これを繰り返しながら知識や講義内容を継承していくことです。教える側と教えられる側が「共に学ぶこと」を目指しています。

研修会本番に向けて、講師陣と運営スタッフで準備を進めていきます。

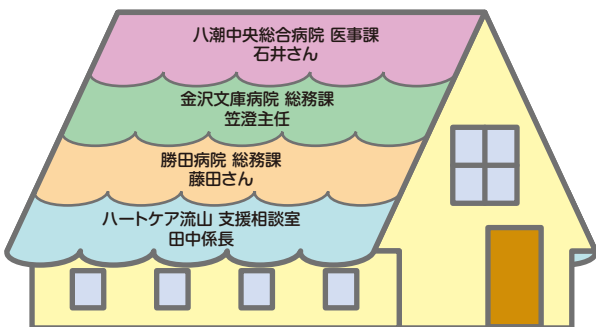


▲久保田総局長と新任講師(前列)、前任講師のみなさん



▲久保田総局長より委嘱状授与

▲前任講師から新任講師へ引継ぎ



AMGのワークアウトを盛り上げる人財を継続的に育成する

- ① ワークアウトの基本と仕組みを学ぶ
- ② 問題解決の手法を身につける

2023年度ワークアウトファシリテーター研修会
6月22日(木)オンラインZoomにて開催予定!

2022年度 新人事務職フォロー研修会 開催報告 人財開発室

研修概要

目的

- ①半年間の業務、経験を振り返り、自身の現状を認識する。
- ②同施設、他施設の同期とコミュニケーションをとり、横のつながりを築く。

対象

対象施設の新人事務職

(彩の国東大宮メディカルセンター、伊奈病院、岡岡中央総合病院、上尾中央第二病院、蓮田一心会病院、一心館、アルシエクリニック、トータルメディカル、寿エンタープライズ、上尾中央医科グループ協議会)

2022年10月26日(水)に新人事務職フォロー研修会を彩の国東大宮メディカルセンターで開催しました。

初めての試みとなる本研修は、入社して半年経過した新人事務職が対象者です。今回は限定した10施設27名の新人事務職が参加しました。

本研修会は、自施設や他施設の同期と入社からこれまでの経験を振り返り、現状の課題認識と、横のつながりを築くことが目的です。参加者は、事前に課題を取り組み、入社して半年経過した自身の振り返りをして研修会へ参加しました。

研修会はワークを中心に進めました。前半のワークでは、隣同士となった職員で他己紹介をしました。相手の情報を収集し、ポジティブな内容にまとめて相手の紹介を行いました。後半は、自身の部署の業務と仕事の紹介、業務での成功体験をグループ内に共有しました。

部署や施設を越えて色々な人と関わることで、周囲と共に成長すること、協力することの大切さを学びました。これからも、仲間とコミュニケーションを取りながら沢山の事を学んで成長してください。応援しています。



▲27名の新人事務職が参加しました



▲研修会の様子



▲グループワークの様子

研修会アンケートより

他施設の同期とコミュニケーションをとる機会がほとんど初めてということもあり、最初はとても緊張しましたが、話をしてみると、みんなとても気さくで、楽しく参加することができました。

他者を理解するという点が大切であると思いました。他己紹介で相手を知り距離が縮まったと感じましたし、成功体験の話も聞いていても、相手を理解することで成功につながったという話が多かったからです。

今までの仕事の振り返りができ、改善点やうまくいったことを認識することができました。他の方の成功体験から、自分も仕事により一層向き合おうとモチベーションにつながりました。

2022年度 AMG職員意識調査・職員やりがい度調査 実施します

今年度も、全職種・全職員を対象として、AMG職員意識調査・職員やりがい度調査を実施します。

AMG職員が、安心して働くことのできる環境整備と、永続的に質の高い医療と介護を提供するためには、職員一人ひとりの前向きな意識と主体的な行動が必要となります。

一人ひとりが「働きがい」や「働きやすさ」をもって働くことのできる環境の実現のために、意識調査の結果の要因分析や経年変化等を課題と捉え、組織的に改善活動に取り組みます。

みなさんの声をお待ちしています！

特徴と目的

AMG職員意識調査

※全施設対象

AMGの組織傾向とAMGの意欲の根源を知ること

5つのカテゴリー44設問から構成されています。
経営方針・病院施設運営・人事制度・職場の雰囲気・ご自身について、経年で比較や分析ができます。

職員やりがい度調査

※病院・老健のみ対象

より質の高い医療の提供を目指して、組織運営や職場環境の課題を把握すること

11設問から構成されています。調査データは、病院機能評価機構へ流れ集計されます。ベンチマーク結果について、他病院老健と比較することができます。

2022年度

AMG職員意識調査・やりがい度調査 実施概要

実施期間 2023年2月1日(水)～2月28日(火)

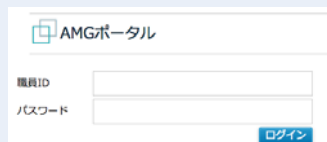
対象者 全職員
(パート医師・派遣スタッフ除く)

実施方法 web方式
(パソコン・モバイル端末より接続可能)

意識調査回答方法

パソコン・タブレット・スマホ
いずれの端末からでも接続可能です。

AMGポータルよりログインし、回答をお願いします。



<AMGポータルへアクセス>

<https://amgsys02.site:8024/portal/>



第63回 全日本病院学会 in静岡

人財開発室

2022年10月1日(土)～2日(日)に第63回全日本病院学会が静岡県のアクティビティ浜松で開催されました。全日病学会は、日本全国の約2,500の病院が加入する、公益財団法人「全日本病院協会」が、年に1回開催する学術の研修の場です。今回の大会は、3年ぶりの現地開催となりました。

今回、AMGからは27施設が参加し、60題の学術発表をしました。

学術発表などのプレゼンテーションの経験は、普段の業務だけでは得られない体験やスキルを得ることができ、自身の成長に繋げることができます。また、そのような機会を多く経験することや、発表の準備で周囲が様々なサポートをすることは、個人だけでなく、組織として大切であるとともに、人材育成に繋がっていきます。

来年度の全日病学会は、2023年10月14日～15日に広島県で開催されます。

AMGでは、様々な学会発表を通して、職員のスキルアップを支援していきます。

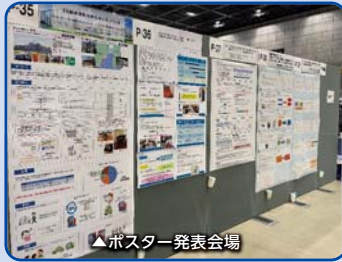
発表演題の紹介

□講演発表 36題 ポスター発表 24題

施設名	演者氏名	所属部門	役職	演題名	発表
上尾中央総合病院	青柳 亜沙美	栄養	一般	重度低栄養の初発のクローン病患者に頻回な食事調整と静脈栄養で栄養量を維持し、栄養状態が改善した症例	□講演
上尾中央総合病院	柳澤 由香	放射線	一般	放射線診断科カンファレンス参加への取り組み	□ポスター
上尾中央総合病院	山下 彩	看護	一般	当病棟における心不全終末期にある患者へのケアに対する実態調査	□ポスター
上尾中央総合病院	秋山 加奈子	リハビリ	一般	当院の脊椎圧迫骨折患者における作業療法介入・ADL 指導の取り組み紹介	□ポスター
上尾中央総合病院	三浦 桜	リハビリ	一般	大腿骨近位部骨折術後患者への作業療法介入の効果	□ポスター
上尾中央総合病院	岩崎 翔	外来医事課	主任	with コロナ時代 外来患者の交错回避!	□ポスター
上尾中央総合病院	森 達哉	施設課	主任	冷却塔蒸発分減免協定について	□講演
上尾中央総合病院	小島 文裕	地域連携課	係長	オープンカンファレンス実施～地域包括ケアシステムと病診連携の構築にむけて～	□講演
八潮中央総合病院	小澤 祐介	薬剤	主任	緩和ケア外来への薬剤師の関わり	□ポスター
八潮中央総合病院	重田 寛也	医事課	主任	新型コロナウイルス感染症による影響と対策～今後の医療体制について～	□ポスター
八潮中央総合病院	鶴田 穂香	臨床工学	一般	多職種連携による透析中リハビリテーション	□講演
八潮中央総合病院	長谷川 卓也	検査	科長	コロナ禍での臨床検査技師の役割	□講演
吉川中央総合病院	梶原 沙弥香	看護	一般	レクリエーション実施が患者に与える効果～病棟デイケアを実施して～	□ポスター
吉川中央総合病院	笹川 拓也	放射線	科長	放射線科における読影読読管理への取り組み紹介(画像診断管理加算取得がない施設での取り組み…)	□講演
吉川中央総合病院	清水 亜沙子	医事課	主任	入退院支援を止めるな!!!～多職種介入で、入退院支援アプローチにより算定件数UP～	□講演
吉川中央総合病院	松澤 弘美	栄養	係長	切れ目ない栄養管理に「栄養情報提供書」は活用できているか	□講演
白岡中央総合病院	直井 和重	リハビリ	係長	リハビリテーションにおける安全性向上の取り組み	□ポスター
白岡中央総合病院	狩野 健二	リハビリ	主任	若手セラピストに対して移乗動作におけるインシデント削減に対する取り組み～KYTと環境設定～	□ポスター
白岡中央総合病院	小林 雅樹	放射線	主任	報告書確認管理者としての当院既存のシステムを利用した運用報告	□講演
白岡中央総合病院	渡邊 幸子	医療安全管理課	課長	医療の質向上とガバナンス強化のための委員会スクラップアンドビルド	□講演
白岡中央総合病院	青木 智之	医療安全管理課	主任	人生の最終段階における医療・ケアの方針決定プロセスの策定	□ポスター
柏厚生総合病院	大島 聡	放射線	一般	デンタルX線撮影におけるワークステーションを用いた入射角度の検討	□講演
柏厚生総合病院	山形 忠史	放射線	科長	当院放射線科におけるラダーシステムについて	□講演
津田沼中央総合病院	久住 治彦	リハビリ	係長	急性期高齢患者における退院支援に向けた多職種連携の効果～病棟ごとにおける検討～	□講演
津田沼中央総合病院	関根 舞	診療情報管理課	副主任	クリニカルパス使用率の向上に向けた当院の取り組み	□講演
津田沼中央総合病院	佐伯 七海	放射線	一般	当院の放射線科における手指衛生遵守率向上に向けた取り組み	□講演
津田沼中央総合病院	筒井 綾子	看護	副主任	動画共有サービスを活用した教育研修の実践 認知症看護認定看護師が行ったせん妄研修の評価と当院の課題	□ポスター
津田沼中央総合病院	塩澤 七奈	栄養	一般	日本人の食事摂取基準に沿った食事提供の見直しと充足率向上への取り組み	□講演
津田沼中央総合病院	壺山 貞治	医事課	課長	病床転換プロジェクトの活動報告	□講演
津田沼中央総合病院	関 春菜	検査	主任	当院の新型コロナウイルス感染症検査運用方法について	□講演
浅草病院	宇田川 美樹	地域連携課	一般	スポーツ整形に特化した、広報活動の新たな取り組み ～中学・高校野球部へのアプローチ～	□講演
浅草病院	五十嵐 尚紀	リハビリ	主任	院内クラスター発生時に直面したリハビリ介入時の弊害と取り組み、課題について	□講演
さがみりハビリテーション病院	加藤 太一	リハビリ	係長	コロナ禍による臨床実習期間短縮の影響と卒後臨床研修の効果	□講演
さがみりハビリテーション病院	田村 亜希子	栄養	係長	糖尿病患者に対する FROM-J チェックリストを用いた評価の有用性について	□講演
船橋総合病院	飯谷 良太	放射線	一般	当院のCT検査におけるFAST 3D カメラシステムの有用性の検討	□講演
船橋総合病院	高橋 凌雅	放射線	一般	上腕の可動域低下に対する肩関節軸位撮影の検討	□講演
彩の国東大宮メディカルセンター	渡邊 将伍	健康管理課	一般	健診受診者の声を活かしたPET-CT 検査の予約件数増加計画	□講演
彩の国東大宮メディカルセンター	濃口 ほゆき	栄養	一般	厨房ピカピカ大作戦の取り組みについて	□講演
千葉愛友会記念病院	川村 美江	検査	一般	当院での「正しい輸血検査及び適正な製剤選択」を目的とした取り組み	□講演
金沢文庫病院	山根 由理恵	放射線	一般	Target/Filter 変更における平均乳腺線量の低減効果	□講演
三郷中央総合病院	松本 千春	看護	一般	透析患者の足病変とフィットケア～フィットケア時に血流測定を行うことで透析患者の足をすくうことができるのか～	□ポスター
三郷中央総合病院	長坂 純	放射線	主任	膝関節側面像撮影における再現性のある再撮影基準の検討	□ポスター
横浜なみきりリハビリテーション病院	勝永 天斗	リハビリ	副主任	パーキンソンズを呈した脳卒中患者に対する運動療法と薬物療法を併用した介入経過	□ポスター
越谷誠和病院	吉住 和敏	薬剤	主任	A 病院における周術期糖尿病ケアの取り組み～糖尿病合併症と術後合併症も予防する血糖コントロール～	□ポスター
横浜相原病院	牛腸 好美	看護	看護部長	精神科療養病棟に発生した COVID-19 クラスターを経験して	□講演
杉並リハビリテーション病院	福田 小雪	リハビリ	一般	脳卒中患者の注意機能障害が歩行自立度に及ぼす影響～ Trail Making Test を用いた検討 ～	□講演
蓮田一心会病院	工藤 志帆	栄養	一般	夜間の胃腸経管栄養の併用により、リハビリ時間が確保でき、栄養状態を維持し FIM 効率を上げた一例	□講演
メディカルトピア草加病院	真々田 美穂	看護	看護部長	看護補助者を魅力ある職業とするための方策	□ポスター
メディカルトピア草加病院	西平 早苗	事務	一般	事務部・看護部の入院業務における負担軽減、及び患者満足向上を目指して メディカルコンシェルジュへの道	□講演
メディカルトピア草加病院	奥 篤哉	事務	一般	二次検査フォローアップによる件数増加、外来への集患	□講演
埼玉回生病院	鈴木 尚希	看護	一般	積極的な介入による遅延性意識障害患者の意思表示の改善	□講演
勝田病院	安田 綾美	看護	一般	関節拘縮がある患者への可動域訓練～病棟看護師の関り	□ポスター
横浜鶴見リハビリテーション病院	竹内 薫	看護	主任	転倒発生事例から振り返る当病棟の転倒防止対策と今後の課題	□ポスター
横浜鶴見リハビリテーション病院	佐伯 まどか	リハビリ	科長	病院開設に伴うリハビリテーション専門職の信念対立の解消	□ポスター
上尾中央腎クリニック	佐藤 忍	臨床工学	一般	透析機械室に無人監視システムを導入して	□ポスター
福川腎クリニック 西大宮腎クリニック	飯塚 忍	透析	一般	透析クリニックの災害対策への取り組み	□ポスター
前橋中央眼科	高橋 英里	地域連携室	係長	患者満足度世界一の医療機関を目指して	□ポスター
上尾中央看護専門学校	原口 佐知子	看護	専任教員	看護師学校養成所二年課程(通信制)の専門職連携教育(IPE)における意識調査	□ポスター
上尾中央医科グループ協議会	杉山 真司	医師人事企画部	主任	若手医師採用に関する取り組みについて	□講演
上尾中央医科グループ協議会	新田 雅	人材開発室	一般	職員意識調査を活用した医療マネジメント職の成長戦略	□講演



▲会場のアクトシティ浜松

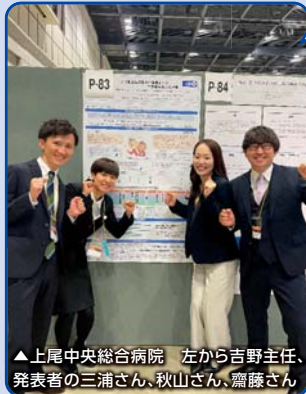


▲ポスター発表会場



◀発表者の杉山主任(左)と森課長(AMG協議会医師人事企画部)

全日病学会でのAMG職員の活躍の様子をご紹介します！



▲上尾中央総合病院 左から吉野主任、発表者の三浦さん、秋山さん、齋藤さん

初めての発表 上尾中央総合病院 三浦 桜さん(作業療法士)

ポスター発表

「大腿骨近位部骨折術後患者への作業療法介入の効果」

Q1.発表を終えての感想

「やっと息が吸える！」発表直後の第一声です。準備段階から思うように進行せず迷走する日々でしたが、親身にサポートしてくださった先輩・チームのみなさまのおかげで無事発表を終えられました。「やってよかった！」わからないだらけでしたが、挑戦したから次につながる一步をまた踏み出せます。

Q2.準備段階で苦労した点、良かった点

同時期に発表を行う先輩と準備～発表へのstepと一緒に進められました。先輩の広い視野での考え方を身近で学ぶこともできたため勉強になりました。

2回目の発表 白岡中央総合病院 青木 智之さん(医療安全管理課)

ポスター発表

「人生の最終段階における医療・ケアの方針決定プロセスの策定」

Q1.発表を終えての感想

今回ポスター発表ということで、人前に立つての発表は初めて。緊張はあったものの、AMGの名前を背負っているという認識で精一杯取り組みました。院内の多くの職員に協力いただき取り組んだプロジェクトであるため、自信をもって発表できました。

Q2.準備段階で苦労した点、良かった点

急変時救命治療の確認において、診療録の記載をするのは医師であるため、テンプレート入力の手順を細かく説明し、今回作成した規定にも記載し、病棟への配置も行っているのでもいつでも振り返って見ることができるようにしました。



▲白岡中央総合病院 青木主任

初めての発表 蓮田一心会病院 工藤 志帆さん(管理栄養士)

口演発表

「夜間の胃瘻経管栄養の併用により、リハビリ時間が確保でき、栄養状態を維持しFIM効率を上げた一例」

Q1.発表を終えての感想

暗記するほど何度も何日もスライドを読み、動かし、自信を持って当日に挑みました。緊張した感はありませんでしたが、気付くと右手の震えが発生、声も裏返っていたような…。今後も場数を踏み、自分に100点を付けられるようになります。

Q2.準備段階で苦労した点、良かった点

直前に蓮田の認定看護師さん(今、共にNST活動中)の働きかけで予演会をして頂き、院長先生を始め沢山の方から協力を頂き嬉しく思います。



▲蓮田一心会病院 工藤さん

2回目の発表 桶川腎クリニック 飯塚 忍さん(臨床工学技士)

ポスター発表

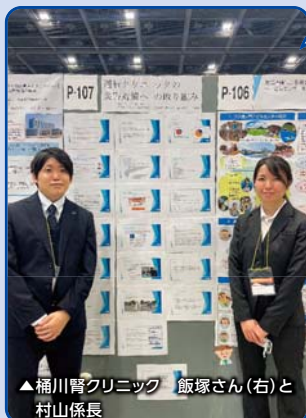
「透析クリニックの災害対策への取り組み」

Q1.発表を終えての感想

当院で実施している入力訓練、災害用伝言ダイヤル、防災模擬訓練の有用性の高さ、日頃から防災に対する意識を高めることの重要性を院外へ発信することができ、充実した発表になりました。今回の発表を通して普段の生活の中では得られないスキルを身に付け、自分自身のステップアップに繋げることができたと感じています。これからも学会参加に向けて新しい研究等に意欲的に取り組みたいです。

Q2.準備段階で苦労した点、良かった点

人前で発表することは、単に研究を行って終わりというだけではなく、それに対する幅広い知識が求められます。限られた時間の中で自分の考えを伝えるために、どのような文章構成にするか、分かりやすいグラフを作成するにはどうしたら良いか、など聞き手側のことを想像しながらポスターの作成、発表の練習をすることが大変でした。



▲桶川腎クリニック 飯塚さん(右)と村山係長

2022-23 V.LEAGUE DIVISION1 勝負の後半戦が再開

1月7日、8日に再開を予定していた2022-23 V.LEAGUE DIVISION1 上尾大会の中止を挟み、埼玉上尾メディックスは今季好調のトヨタ車体(第6位)のホームで今年最初の試合に挑みました。

10月の世界選手権後からの調整を進めていた内瀬戸真実選手が今季初のスターティングメンバーとして出場。若手の活躍で控えに回ることの多かった山岸あかね選手、ロゾ・サラ選手の活躍もあり、安定したサーブレシーブからスピードのあるバレーを展開し、トヨタ車体を相手に大きな2連勝を挙げました。現在、10勝4敗で第5位(ポイント数により)としています。

V・ファイナルステージ進出へ向けて、決して負けれない戦いが続くメディックスですが、後半戦の半数をホームで戦います。厳しい戦いが続く中、これほど心強いことはありません。AMGの皆さまの熱いご声援をぜひ、会場にてお待ちしております! 応援宜しくお願いします!

四日市大会

▼苦しみながらも勝利をつかみ取った埼玉上尾メディックス



▲今季、初スタメンで2連勝に貢献した内瀬戸真実選手



試合結果 三重県四日市大会

埼玉上尾メディックス vs トヨタ車体クインシーズ

1月14日(土) ○ 埼玉上尾メディックス 3 (25-17, 23-25, 25-21, 23-25, 16-14)

2 ● トヨタ車体クインシーズ

1月15日(日) ○ 埼玉上尾メディックス 3 (30-28, 25-16, 25-15)

0 ● トヨタ車体クインシーズ



▲10勝目を挙げた埼玉上尾メディックスの選手たち

対戦成績
(1月15日現在)
順位 第5位

チーム	JT	東レ	NEC	久光	トヨタ車体	日立Astemo	PFU	岡山	デンソー	KUROBE	姫路	試合数	勝	負	ポイント	勝率	得セット	失セット	セット率
埼玉上尾	● 0-3 ● 2-3	○ 3-2 ● 1-3	○ 3-0 ○ 3-0		○ 3-2 ○ 3-0	● 3-1 ● 0-3	○ 3-0 ○ 3-0				○ 3-0 ○ 3-2	14	10	4	28	0.71	33	19	1.74

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

旧年中はたくさんのご支援ご声援を賜り、厚く御礼申し上げます。

日頃より埼玉上尾メディックスをご支援ならびにご声援いただいております皆さまにとっても、幸多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

本年も埼玉上尾メディックスを宜しくお願い申し上げます。

埼玉上尾メディックス選手、スタッフ一同



メディックスの選手たちから年賀色紙が届きました!



#11 青柳京古



#14 椎名真子、#4 鈴木日美



#21 栗栖明歩、#5 山崎の花



#20 岳野ひかる

全選手分の年賀色紙はこちらから!



こちらの年賀色紙は1月28日、29日のさいたま大会の来場者へ抽選でプレゼント!ぜひ会場でお楽しみ下さい。

お詫び

1月7日、8日に上尾市民体育館にて開催を予定しておりましたKUROBEアクアフェアリーズ戦は、対戦相手に新型コロナウイルス感染症陽性者が複数発生し、辞退の申し入れがあり、埼玉上尾、KUROBE、Vリーグと協議の上、中止となりました。

楽しみにされておりました皆さまには、直前の中止のご案内となり大変申し訳ございません。心よりお詫び申し上げます。

再試合の詳細につきましては、追ってオフィシャルサイトにてご案内致します。

個人技術ランキング メディックスの選手が首位を独占中 (1月15日現在)

サーブ効果率 **第1位**

#2 岩崎こよみ選手

サーブレシーブ成功率 **第3位**

#12 岩澤実育選手

アタック決定率 **第2位**

#3 サンティアゴ・アライジャ・ダフニ選手

(※サンティアゴ選手はブロックランキングも第5位にランクイン)

まだまだメディックスの選手たちが活躍中!

総得点、アタック決定本数(1セットあたり)にランクイン!
#10佐藤優花選手が日本人選手第4位!(総合第11位)

日本人選手 **第3位**
(総合第10位)

#10 佐藤優花選手

2022-23 V.LEAGUE DIVISION1 ALL STAR GAMES

12月24日に愛知県稲沢市、エントリオ(豊田合成記念体育館)にて開催されたオールスターゲームスに埼玉上尾メディックスから佐藤優花選手、岩澤実育選手が選出!たくさんの応援投票をいただきまして、ありがとうございました!

佐藤優花選手

岩澤実育選手

天皇杯・皇后杯 全日本選手権大会ファイナルラウンド試合結果

12月9日~11日に東京都調布市・武蔵野の森総合スポーツプラザにて、天皇杯・皇后杯 全日本選手権大会ファイナルラウンドが開催され、埼玉上尾メディックスは準々決勝でNECレッドロケッツと対戦し、セットカウント1-3で敗れ、ベスト8で大会を終えました。

1回戦	○埼玉上尾メディックス 2 (18-25, 25-18, 25-21)	1 ●プレス浜松(V2)
2回戦	○埼玉上尾メディックス 3 (25-18, 25-22, 25-15)	0 ●KUROBEアクアフェアリーズ
準々決勝	●埼玉上尾メディックス 1 (25-23, 18-25, 14-25, 9-25)	3 ○NECレッドロケッツ
最終結果	ベスト8	



2022年度外国人技能実習生交流会

外国人技能実習生交流会が9月と10月に2回開催され、計101名の技能実習生が参加しました。コロナ禍ということもあり、昨年に引き続き、オンラインでの開催となりましたが、グループディスカッションでは、日本での生活について、仕事や自己学習についてなど色々と活発な意見交換が行われました。

また、交流会の中で外国人技能実習生受入れ実習指導者代表による講話もございましたので、ご紹介させていただきます。



外国人技能実習生と一緒に働いて ～現場に与える影響～

横浜あおばの里 介護係長 玉利 悠真

外国人技能実習生のみなさんが入職してスタッフや利用者さまからの反応は「元気で明るい」、「仕事を覚えるのが早い」といった声が聞かれます。今回は一緒に働いてきて、現場に与えている影響を3つお話ししたいと思います。

まず1つ目ですが、現場の雰囲気がすごく明るくなったと感じています。ベトナムから日本に来て右も左も分からない状態で入職して言葉や文化が違う場所で働くということは、精神的にも身体的にもすごく大変だったと思うのですが、常に笑顔で明るく元気で利用者さまや患者さまはもちろんなのですが、働くスタッフたちもすごく元気をもらえます。そういった明るさが連鎖して現場の雰囲気が明るく良くなったと感じています。利用者さまに対しての声掛けも多く、優しく愛情を持って接してくれていることがしっかりとご利用者さまや患者さまにも伝わっています。「今日出勤してないの?」とか「いると安心するんだよね」というような声を本当に多くいただいているので、素晴らしいことだと思っています。

次はスタッフの業務に取り組む意欲が高まったということです。介護技能実習生はとても真面目で勉強熱心なので、仕事を教えていくにあたって指導者も改めて業務に関する知識や技術を確認することができたと感じます。また、接遇に関しても見直すきっかけになりました。本当に忙しい時も利用者さまに寄り添って対応してくれているので、そういった真っ直ぐな姿勢に刺激を受けますし、一人ひとりにしっかり向き合っていくことの大切さも改めて学ばせていただいたと感じています。そういったお互いの行動で結果的に質の向上にも繋がってきているのではないかと思います。

3つ目はコミュニケーションについて考える機会ができたということです。短い期間で日本語を勉強して、日本に来てははじめは聞き取れないことや理解できないことが多くて不安や心配もあったと思うのですが、一生懸命ご利用者さまや患者さまの話を聞こうとしたり、話をしようとしている姿勢を見て他の職員にも良い刺激を与えていると思います。外国人技能実習生の不安を解消できるように、指導者側もどうしたら伝わるかコミュニケーションについて深く考えるきっかけをくれました。外国人技能実習生は本当に献身的なコミュニケーションを取られるので、すごく好感が持てます。利用者さまや患者さま、その

家族にも安心感、信頼感を与える関わり方ができており、施設病院での生活が楽しいなど感じている方がたくさんいるのではないかと思います。

最後に外国人技能実習生にメッセージが3つあります。これからも分からないことや不安に思うことがたくさんあるかと思うのですが、一人で抱えないで一緒に頑張っている仲間や指導者の方に相談してもらいたいと思います。あとは自分のことをたくさん褒めてあげて欲しいと思います。日本で働いているということだけでも十分すごいのですが、できることが増えたりした時はたくさん自分を褒めてあげてください。最後に利用者さまや患者さまと関わることを楽しみながら残りの実習も行って欲しいと思います。みなさんの楽しそうなところ、明るいところは利用者さまや患者さまにも伝わって笑顔になるとと思います。みなさんの活躍をこれからも応援しておりますので、一緒に頑張っていきましょう。



2023年度研修一覧が決定いたしました!多数のご応募お待ちしております。



2023年度 キャリアサポートセンター 研修一覧



◆ 看護師対象

日本看護協会認定

研修名	日程および期間	定員	受講料(税込)	申込期間	選考通知
認定看護管理者教育課程 ファーストレベル	5月19日(金)～8月18日(金) 原則 週2日/金・土曜	100名	150,000円	2月1日(水)～2月28日(火)	4月下旬
認定看護管理者教育課程 セカンドレベル	9月1日(金)～2月3日(土) 原則 週2日/金・土曜	50名	210,000円	5月1日(月)～5月31日(水)	8月上旬
感染管理認定看護師教育課程 (特定行為研修を組み込んでいる:B課程)	4月 開講予定 (※認定申請中)	詳細はホームページをご確認ください			

厚生労働省許可

看護学生実習指導者講習会	6月13日(火)～11月21日(火) 原則 週2日/火・水曜	100名	98,000円	3月1日(水)～3月31日(金)	5月下旬
--------------	-----------------------------------	------	---------	------------------	------

◆ 介護福祉士対象

厚生労働省委託

介護福祉士実習指導者講習会	11月28日(火)～12月26日(火) 原則 週1日/火曜	40名	27,000円	8月15日(火)～9月15日(金)	10月下旬
---------------	----------------------------------	-----	---------	-------------------	-------

◆ 医療職全般対象

診療報酬加算対象

医師事務作業補助者研修	5月11日(木)～5月25日(木) 原則 週2日/火・木曜	50名	23,000円	3月10日(金)～4月17日(月) ※定員になり次第締切
厚生労働省「医療安全管理者の業務指針および養成のための研修プログラム作成指針」 医療安全管理者養成研修	【6月開講】 6月1日(木)～7月13日(木) 原則 週1日/月または木曜 【2024年1月開講】 1月25日(木)～3月7日(木) 原則 週1日/月または木曜	50名	64,000円	4月1日(土)～4月28日(金) ※定員になり次第締切
医療安全管理者のための 継続研修 (修了者フォローアップ研修を含む)	12月 予定 1日	100名	5,000円	詳細はホームページをご確認ください

その他

看護管理者のための研修	未定 半日	100名	3,000円	詳細はホームページをご確認ください
看護・介護実習指導者/ 教育に携わる方のための研修	7月 予定 半日	100名	3,000円	詳細はホームページをご確認ください
診療報酬・介護報酬改定に 関する研修	(2024年) 3月 予定 半日	100名	3,000円	詳細はホームページをご確認ください

研修によっては1日または半日のものがあります。
また、研修日程は変更する場合がありますので、必ずホームページをご確認ください。



上尾中央医科グループ協議会
キャリアサポートセンター
【所在地】〒362-0036
埼玉県上尾市宮本町10-29
AMG学習館3階

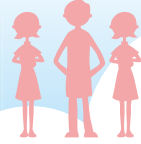
【お問い合わせ】

TEL 048-771-7765 【平日】8:30～17:30 【土曜】9:00～12:00
(看護本部内)
Mail k-center@amg.or.jp
URL https://amg.or.jp/career_support/



上尾中央医科グループ

医療の質向上委員会


AMQI
 The AMG Committee of
 Medical Quality Improvement

お問い合わせ先 | AMQI事務局 (上尾中央総合病院 組織管理課) e-mail ▶▶ omr@ach.or.jp

連載 第58回 世界患者安全の日 2022年度のテーマは「Medication Safety」

2019年の世界保健機関 (WHO)の総会にて、毎年9月17日は世界患者安全の日(WPSD)とすることが制定されました。この日は患者安全を促進することへの人々の関心を高め、国際的な理解を深めることなどを目的に制定されています。2022年度は「Medication Safety(投薬の安全性)」がテーマに、「Medication Without Harm(無害な投薬)」がスローガンに掲げられています。薬による害は、医療における予防可能な害全体の50%を占めているとされています。また、投薬ミスを防げば全世界で420億ドルの医療費削減が可能ともされています。

AMG薬剤部では、院内の医薬品のリスクマネジメントに関する質の高い業務の標準化を目指すために、「疑義照会」「調剤過誤」「医薬品の安全管理体制」「プレアポイド」「副作用」「持参薬」「薬品管理」の7項目を評価指標として、医療の質向上に努めてきました。

項目	評価指標
疑義照会	疑義照会率
調剤過誤	調剤ミス・エラー率、Aランクエラー対策など
医薬品の安全管理体制	薬剤に関連するインシデント・アクシデント件数など
プレアポイド	プレアポイド報告件数
副作用	副作用報告件数
持参薬	持参薬鑑別率など
薬品管理	薬品廃棄金額など

薬剤部門のみならず、他のスタッフの方々の協力によって、多くの施設で評価指標の改善がみられています。この場をお借りして感謝申し上げます。AMQI薬剤部会では、今後新たに病棟配置薬品目数やハイリスク薬品目数の見直しなども進めていく計画です。今後ともご協力お願い致します。

AMQI 薬剤部会 岡添 進

ソーシャルワーカー部

SW部「アセスメント・ケース理解」研修 開催報告

2022年10月28日、SW部専門シリーズ研修②「アセスメント・ケース理解」を開催しました。今回はAMG協議会の久保田総局長が参加くださり、冒頭の挨拶を頂きました。講義では、日本医療社会福祉協会(現、日本医療ソーシャルワーカー協会)の元会長であり、現在はWITH医療福祉実践研究所で、後進の育成に活躍されている佐原まち子さんを講師にお迎えし、ソーシャルワーカー支援の根幹となる「アセスメント」についてお話し頂きました。新人からベテランまで様々な経験年数の参加者がいましたが、それぞれに新たな学びがあり、日頃の実践の振り返りができ、充実した研修となりました。



アセスメント定義

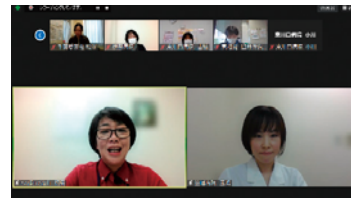
アセスメントとは、**主要な情報を収集し、分析し、統合して、クライアントの持つ問題の性質、クライアントと主要な関係者の機能、クライアントの問題への動機づけ、問題に影響を及ぼしている環境要因、クライアントの問題を改善するための社会資源**といった多角的な項目を問合わせて系統立てていく過程である



SW部「子育て世代ソーシャルワーカー研修交流会」開催報告

2022年11月29日、SW部サポートシリーズ研修②「子育て世代ソーシャルワーカー研修交流会」を開催しました。オープニングスピーチは、「ハートケア流山」支援相談室の初鹿課長より、「子育て・就労両立支援」をテーマに、子育て当時のエピソードを交えて、お話し頂きました。グループディスカッションでは、参加者の近況や子育てと仕事の両立での不安や困りごとなどについて交流しました。子育てをしながら働き続ける工夫や働きやすさについて考え、交流できる場として、SWの活力になれるような研修交流会となりました。

教育ラダー部門: 萩原(さがみりハ)、笠石(HC横浜小雀)、玉城(笠幡)、折尾(RCかつしか)



AMG インターンシップ報告

8月26日AMGインターンシップが人事本部主催で開催。SW部も参加させていただきました。

2024年度SW志望学生17名を対象に、2022年度新入職SW代表の5名が、「SW職紹介」「1年目の業務内容」などをテーマにパネルディスカッション。3月まで学生だったと思えないような5名による、円滑で真摯な対応に、学生も大満足。AMG入職への興味関心を高める機会となりました。

SWの将来性

AI代替可能性が低い 必要な仕事
医療ソーシャルワーカー

- コミュニケーション能力が必要
- 抽象的な知識・理解が必要
- 感覚的なことや柔軟性が問われる



2022年度新卒SW代表から一言

入職からインターンシップ当日まで約5か月のキャリアでしたが、参加学生に業務内容や現状を伝えることが出来たと思います。この機会に、他施設の同期との交流や、業務内容などを知ることができ、良い刺激になりました。同期と切磋琢磨し、早く一人前のSWになれるよう、日々努力していきます。

倉戸/白岡中央総合病院 医療福祉相談課

2022年度新入職SW代表: 伊東/CC習志野、城所/あげお愛友、倉戸/白岡、中村/東川口、森松/浅草 採用広報部門: 杉山/CC習志野、牛島/柏厚生、橋本/船橋

安否確認訓練を実施しました!

2022年10月13日、関連事業本部にて避難訓練と安否確認訓練を実施しました。

当日は生憎の雨天であり、避難訓練は時間短縮し、安否確認訓練は会議室へ場所を移して繰り上げ開催へと変更しております。

安否確認訓練は、関連事業本部内で業務連絡や情報共有ツールとして使用している「LINE WORKS」を活用しました。

- ・自身の安否状況
- ・自身の交通手段
- ・自身の現在の勤務状況
- ・帰宅可能か?
- ・自宅の最寄り駅

以上をアンケート形式で配信し、登録者から回答を得て安否状況を把握する流れです。

社員は普段から使い慣れているアプリケーションであり、すぐに回答を得ることで、短時間での安否状況の把握を確認できました。

アプリケーションの機能を活用し、回答はグラフ化されることで現状把握も随時可能です。

関連事業本部内が停電想定での訓練とし、会議室内に設置したプロジェクターにポータブル非常電源を用いて投影することで、対策本部内での可視化も行っております。

集まった安否情報を①帰宅ルート②搭乗者③運転者のカテゴリーに分類して、ホワイトボードで配車表を作成し、社員の帰宅ルートを作成することを以って、訓練終了としました。

今回の訓練における未回答者の対応を検討課題とし、今後も情報共有・啓蒙活動を継続することにより、有事に備えた対策を講じていくことを確認しました。

安否確認訓練の流れ

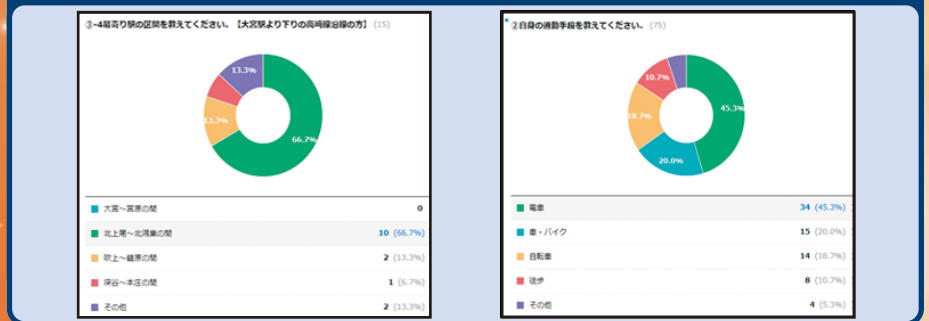
- 14:15 会議室準備(ポータブル電源用意)
- 14:22 LINE WORKSからアンケート配布
- 14:26 グラフ化した回答をプロジェクターで投影
並行してホワイトボードを使用し車両・搭乗者・運転者を決定
- 14:50 総括
- 15:00 終了



停電を想定しポータブル電源を使用



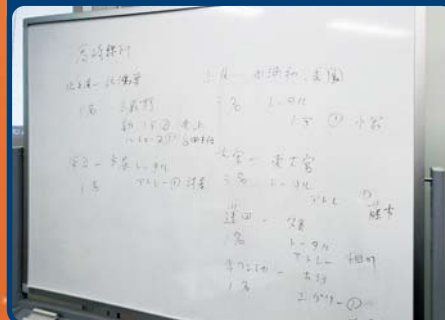
LINE WORKS による安否状況のグラフ



プロジェクターでグラフを投影



次々と回答者の名前が書き込まれる



執行メンバーもアンケートに回答



